

おこっパ 初夏のライブ

毎年恒例となりつつある、シンガーソングライター、ボーセン・ジェレッドのライブ今年も行います！オリジナル曲に加え「When a Man Loves a Woman」や「空に星があるように」など日本語、英語のカバー曲も登場します。生演奏を聴くひと時を楽しみましょう。お気軽にお越しください♪

出演者：ボーセン・ジェレッド

アメリカ、ワシントン州生まれのシンガーソングライター。2007年来日。以来、北海道中頓別町に在住、道北を中心に音楽活動をする。ギターとハーモニカを相棒に、ブルースから子ども向けの歌まで幅広い分野の曲を英語と日本語で歌う。カンフー教室の先生でもあり、パラグライダーで空を飛ぶことも。ホームページ：www.jaredboasen.com



6月29日(土)

興部町 総合センター ロビー

開演：午後6時 (開場：5時半)

入場料：500円 (高校生以下無料)

主催： おこっパライブ委員会
(お問い合わせ：0158-82-4566 都築)

後援： 興部町教育委員会



このチラシについて、ある日のボーセンさんとのメールでのやりとりです

お金を取らないで、いろんな人が参加出来るようなライブもいいかもしれませんね。

まだ間に合うので、希望などがあれば教えて下さい。

ライブで伝えたい主張なんかも知りたいな。

Tより

以下、ボーセンさんより（本当に一生懸命、日本語で書いてくれています）

Tさん、

サトミからメールを転送してくれました。

先日の電話ありがとうございました。日本語は私の第二言語なので、チラシの中そんなに細かく変な意味が気付かなかったです。すみませんでした。

でも、その時からずっと気になっていて、私の伝えたかった意味と書いてあった日本語は合っていないみたいですね。それに対してちょっと説明させて下さい。

私は今年から少しずつバンドのように活動をしています。

なので、ベースやドラム、チェロ等もたまにサポートとして参加しているミュージシャンがいます。

バンド名はまだ決まっていなくてけれども、バンド風なイメージを伝えたかったです。でも、全然伝えられなかったですね。（笑）

御免なさい。

しかし、私は有料で活動をしているからこそ、いつもまじめにお客さんの為に練習して良いショーをするべきだと当たり前になります。そして、バンドが居れば演奏できる幅が増やせるし、さらにもり上げられるし、お客さんの利益が絶対高まると信じています。と言う意味を伝えたかったです。

それと別で、地域に居る音楽を弾ける人（徳に若者）を応援するべきだと思います。1, 2曲ぐらい飛び入りしてもらおうと（もちろんちゃんと練習して演奏できるようにしていれば）ライブの楽しさと音楽で人々が繋がるような意味が深めると思います。

「お金取らないで、色々な人が参加出来るようなライブ」と言う形も社会福祉と言う点で確かに私もいいと思います。実はナカトンでたまにそう言う機会を作っています。でも、今回の興部ライブは全然そのつもりではありません。今回は私の仕事です。私は何百時間で新しいカバー曲を習ったり、プランニングしたり、リハーサルしたりして、大変まじめな事なんですよ。

と先日の電話で、Tさんはご安心できるように心強く言いたかったけれども、お客さんが居て、とりあえず散らしの書いてある日本語は変えなきゃいけないと言うことで話して、そして一番やりやすい方法はただその問題がある言葉を消す方法でした。

でもTさんは私のためにそんなに頑張って頂いているのに私はただ友達と一緒に遊ぶつもりで演奏すると思ってしまうのは本当にいやな気持ちでした。以上の事をお読みになり、ご安心できれば大変幸いです。非常に良いライブになりますよ。約束しますから。

いつも本当にありがとうございます！

ボーセンより